



## 「子どもの車内放置撲滅」緊急メッセージ

千葉県民の皆様へ

夏の暑い時期を迎えると、全国では毎年のように駐車場などで車内に放置された子どもが熱中症で亡くなるという、たいへん痛ましい事件が起きています。残念ながら千葉県でも、昨年、1人が尊い命を落とされましたが、その後も車内から子どもを救出する事案が複数発生しています。

エアコンが作動していない車内の温度は、比較的涼しいと思われる日であっても日中の気温上昇とともに急上昇し、窓を少し開ける程度では車内温度の上昇を防ぐことはできず、特に夏の暑い時期は、その危険性が高まります。

子どもは体温調節が未熟なこともあり、このような車内では短時間でも熱中症になり命を失う危険性があります。「眠っているから」「少しだけ」などと子どもを車内に乗せたまま、その場を離れることは大変危険です。

また、エアコンを作動させている場合でも、誤作動で車が動いたり、燃料切れでエンジンが止まってしまう可能性があります。

県民の皆さん

「子どもを車内に置き去りにすることは、  
児童虐待（ネグレクト）にあたります！」

自分で身を守ることができない子どもを守るのは大人の役割です。

決して子どもを車内に放置しないでください。

もし、そのような車を見かけたら躊躇なく警察等への通報をお願いします。

皆さんの目で、子どもを車内放置の被害から守りましょう。

令和4年8月10日

千葉県知事

熊谷 俊人

千葉県警察本部長

田中 俊恵

## 子どもの見守りについて

市民の皆様には、市行政に日頃より多大なる御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、全国では毎年のように駐車場などで車内に放置された子どもが熱中症で亡くなるという、大変痛ましい事件が後を絶ちません。残念ながら千葉県でも、昨年、1人が尊い命を落とされたほか、その後も車内から子どもが救出される事案が複数発生しています。

このため、千葉県知事と千葉県警本部長との連名による「子どもの車内放置撲滅」緊急メッセージ（別紙参照）が発出されました。

ついては、子どもの車内放置撲滅に向け、御協力いただきますようお願いいたします。

また、こうした子どもの見守りには地域の皆様のお力添えが非常に重要です。市原の宝である子どもたちの安全を守るため、日頃からの挨拶や夜間にもかかわらず外出している子どもへの声掛けをしていただくなど、引き続き見守りへの御協力をよろしくお願いいたします。

令和4年8月18日

市原市長 小出 譲治